

**BIOACT MARINE (水産用・環境対策塗料)**  
**ふじつぼに対する忌避効果テスト**

実験報告作成日： 2003年09月30日

実験番号： OP020601/001

実験依頼者： ペトロ・トレード・インターナショナル株式会社  
東京都千代田区麹町4-5-21 ペトロハウス

実験実施者： 日本ニーム協会（内閣府認証NPO法人）  
東京都渋谷区道玄坂2-15-1

実験期間： 2002年6月15日 2003年8月20日

実験実施場所： 有明海  
福岡県大牟田市 沖約200m

実験内容・対象： 「ふじつぼに対するバイオアクトマリン添加剤の忌避効果について」

実験対象液剤： バイオアクトマリン添加剤

実験要領： 満潮時、上記実験実施場所海岸から300m直角に沖方向に位置する、大牟田海苔養殖場（松岡氏所有）において、FRPポールにBIOACT MARINE（ペイント）1000cc、ポール下部端から上部方向に向けて全面に、均一にペンキ用ブラシで塗布したものを2本、海面に対して垂直になるよう設置。設置中、当該ポールは満潮時約200cmが海中に没し、また干潮時100cmが海中に没する。  
また比較測定用にBIOAMCTMARINE（ペイント）を塗布していない同一社製同一型番ポールを2本、実験対象ポールから15cm離れた場所に設置する。比較測定用ポールも実験対象用ポールと同様の長さ満潮時、干潮時、それぞれ海中に没するように設置。

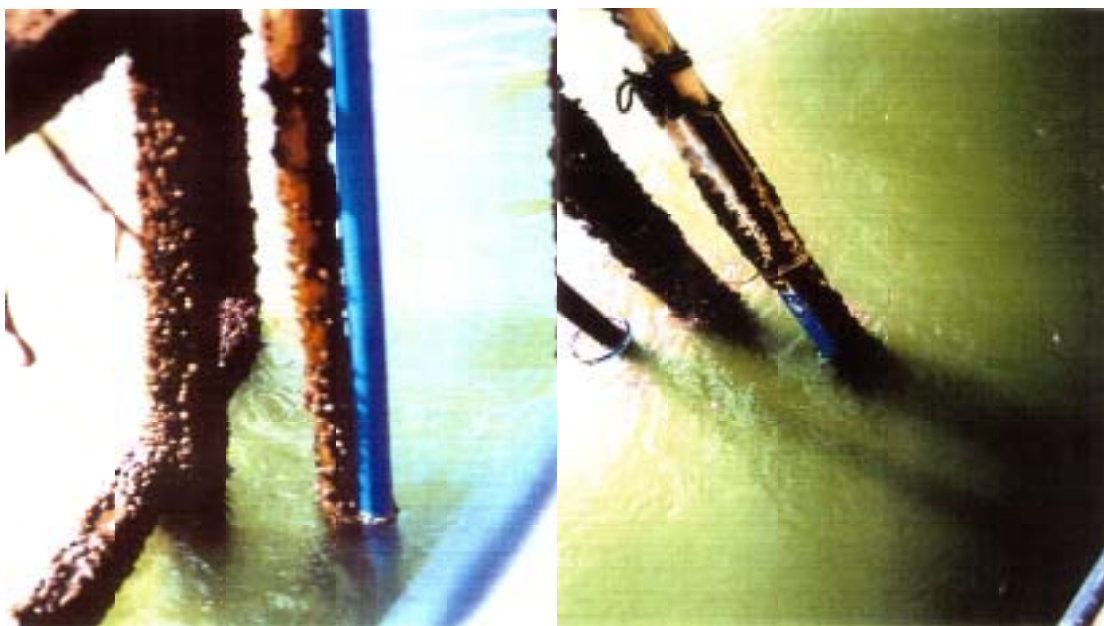
実験開始日より2ヶ月毎に実験対象ポール、および比較測定用ポールを同時に海中から引き上げ、目視によりふじつぼ付着の有無を確認する。

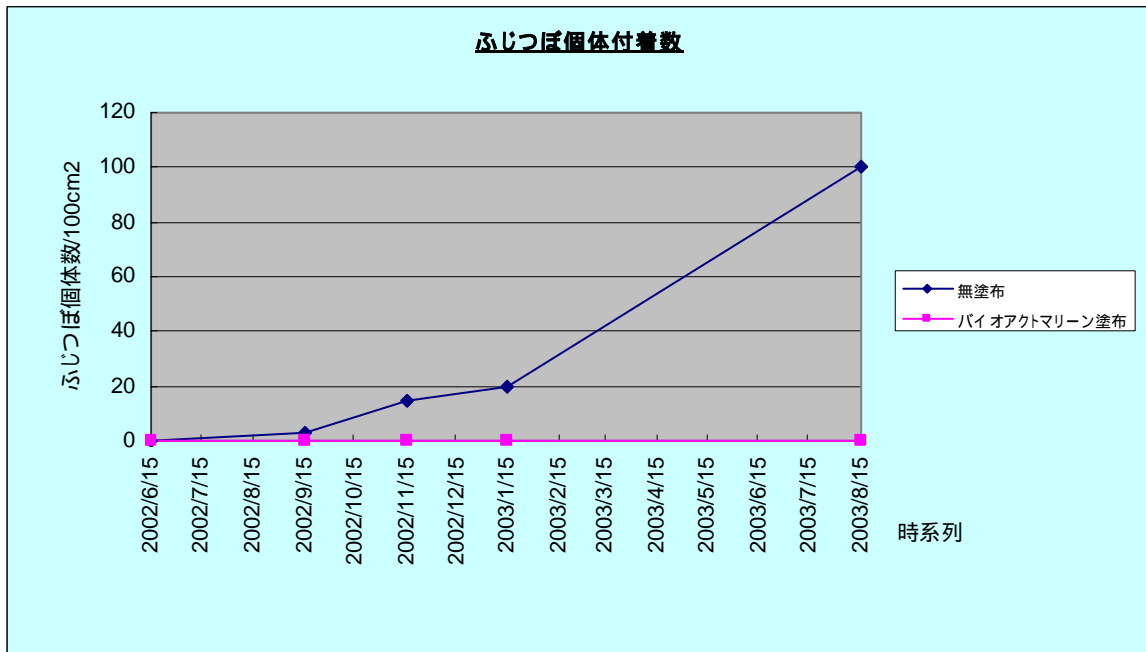
実験結果： BIOACT MARINE を塗布した実験対象ポールには、実験期間中の各引き上げ日および終了直後時双方において、ふじつぼの付着は一切確認できなかった。

比較測定用ポールには実験開始後、第1回目の引き上げ時（2002年07月15日）に最初のふじつぼ付着を確認（100cm<sup>2</sup>平均に3 - 4個程度）。その後第2回目（2002年09月15日）の引き上げ時に100cm<sup>2</sup>平均に15個程度、第3回目（2002年11月15日）に100cm<sup>2</sup>平均に15個程度、第4回目（2003年01月15日）に100cm<sup>2</sup>平均に20個程度ふじつぼの付着が確認できた。実験完了時には隙間が見えない程度のふじつぼの付着を確認。（下記グラフを参照のこと）

上記、同一場所に同一期間、同一条件下で設置された実験対象・比較測定用ポールのふじつぼの付着の違いにより、当実験においてはBIOACT MARINE のふじつぼに対する忌避効果はあると判断する。

< 実験完了時の写真3枚 青いポールが実験対象、その他が比較検討用 >





日本ニーム協会（内閣府認証 NPO 法人）  
郵便番号 150 - 0043  
東京都渋谷区道玄坂 2 - 15 - 1  
TEL : 03 5784 3425  
FAX : 03 5784 3429